

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)辻堂計画(B敷地)新築工事	階数	地上13F
建設地	藤沢市羽鳥一丁目153番外6筆	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域,近隣商業地域,防火地域	平均居住人員	1,785 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2016年8月5日
敷地面積	14,387 m ²	作成者	株式会社長谷エコーホレーション
建築面積	4,843 m ²	確認日	2016年8月5日
延床面積	40,546 m ²	確認者	株式会社長谷エコーホレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 68%
③上記+②以外の 67%
④上記+ 67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 ・A・B敷地をまたいだ半円形の公開空地を設けることで、正面性を演出するとともにゆとりとうるおいのある空間を提供した。 ・建物壁面は飾り柱により長大な壁面となることを避け、周囲への圧迫感を軽減した。	その他 0	
Q1 室内環境 ・安全・安心・快適な毎日の生活を居住者に提供し、心豊かに暮らせる住環境を創出した。	Q2 サービス性能 ・住戸の採光・換気・室温維持及び内装材への配慮を行い、機能的かつ快適で安全な室内環境を創出した。	Q3 室外環境(敷地内) ・自治体の景観計画区域基準に基づき色彩配置としている。 ・建物は隣地境界より5メートル以上後退させ、緑道を設けることで周辺環境へ配慮した。
LR1 エネルギー ・エコジョーズ採用により、エネルギーの有効利用を図った。 ・住戸の2面以上に窓を設け、有効な通風と採光が確保されている。	LR2 資源・マテリアル ・内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁を採用した。	LR3 敷地外環境 ・A,B敷地全体で駐車場を住戸数の70%、駐輪場を200%確保し、敷地外への駐輪や自動車利用の抑制に対して配慮した。 ・ゴミ置場を敷地内に設けることで、敷地外への環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される